

(様式1)

自己評価票

作成日 平成28年3月24日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870301124		
法人名	池田観光開発 株式会社		
事業所名	グループホーム 鶴沼の里（2）	ユニット名	B棟
所在地	〒300-0012 茨城県土浦市神立1丁目16-33		
自己評価作成日	平成27年8月22日	評価結果 市町村受理日	平成28年3月31日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kihon=true&JigyosyoCd=0870301124-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成27年10月27日	評価機関 決 済 日	平成28年3月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

毎日の食事では食材の安全に拘ると共に、季節の食材を取り入れ食事を楽しんでいる。又、機能に応じた個別ケアに力を入れ、利用者に寄り添い支援しながら、一方的な介護される側とせず、職員との協働生活を目指し、日々工夫を重ねている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は幹線道路から車で3分程脇に入った道路沿いに立地し、周りは田園地帯が多く利用者が四季を通じて自然を感じながらのどかに暮らせる環境となっている。
彼岸の頃には、利用者と一緒にあぜ道一杯に咲く曼珠沙華の花を見物に行き、自然を満喫している。
管理者は料理やお菓子作りを得意としている職員を中心に、盛り付けや味にこだわった食事やおやつを提供し、利用者が食を通じて笑顔が出るよう、ひと手間やひと工夫した支援に職員とともに力を注いでいる。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	
			実 施 状 況	
I 理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	人権の尊重、個別のケア、社会交流を理念とし、事務所に掲示してあり、毎朝朝礼で復唱し、心に刻んでから業務に入っている。利用者が地域の一員として暮らすことを目指している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の小学校の運動会に招待され、子供たちとの触れ合い、散歩などでの挨拶・会話で親しく交流を図っている。又行事デボランティアさんやご家族を招待して、家族とのつながり、ボランティアとの交流も大事にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩している姿や会話の中から認知症の理解を求め、支援の姿を見て頂く。	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月毎に開催。市の職員・区長・民生委員・介護相談員・家族等とは話し合い、サービス向上に生かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の職員は、運営推進会議に出席して下さる他、地域密着型連絡会に参加して下さったり、連携をとっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の安全を確保しながら、身体拘束をしないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	基本理念に従い、介護サービスを行っている。ミーティング等で問題が見過ごされない様、話し合い虐待防止に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	内部研修において学んでおり、実際に過去数名の方が利用している。
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	代表者及び事務所の担当者が対応することが基本であるが、時によりケアマネも利用者家族に説明し、納得して頂いている。
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	面会時や電話連絡時、運営推進会議時ご家族や利用者の要望を聞き、運営に反映されている。
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	毎月本社会議・全体会議・カンファレンス・を行い、職場の意見を検討し、利用者の生活への反映に努めている。又、経営者を交えての話し合いの場も設けている。
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	代表者は現場に訪れ、常に把握に努めている。外部評価研修への支援までには至らず、「本社会議」を通じて、管理者・主任への職場環境整備に努めている。
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	外部評価は研修案内を回覧し、支援している。内部研修は行っているが、その機会は少ない。
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	管理者が地域密着型連絡会に参加し、サービスの質の向上をさせるように取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人と面会お話しをしてホームでの対応を検討していく。入所では本人との交流を図り、会話の中から様子観察し、安心感につなげていく。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設見学・本人の調査・家族からの希望・要望・困り事等を聞き、必要としている支援の見極め関係作りに努めている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時点での情報収集と本人・家族よりの希望・困り事等によるニーズに対応しながら様子観察。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者と職員は共に暮らしている。食事作り・掃除・洗濯物等日常的に一緒に作業を行い、良い関係を築いている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者と家族の絆を大切に、こまめな連絡を取り面会を促し、ホーム・家族が協力して本人を支援している。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地元商店での買い物や知人の面会等馴染みの関係ができる様努めている。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同志の関係を把握し、一人一人の個性を大切にし、状況に応じての食事席・乗車席などに配慮している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了と共にホームとの関係が途絶えてしまうのが、ボランティアとしてホームへ訪れて下さった方もいた。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の日々の行動や会話・表情などから思いや意向の把握に努めている。家族からの情報も得ている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報や面会等で得た情報を記入、ケース記録と一緒に閉じ、情報の共有で把握している。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	全職員がケース記録・申し送り帳等から、個別の心身状態を把握に努めている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングとミーティングの話し合いを中心として、現場職員からの意見に耳を傾け、必要に応じて家族と話し合いケアプランの見直し、作成を行っている。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録、申し送り、ミーティング等で話し合い職員同士、情報の共有を図り、サービス提供の実践とケアプランに生かしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	共に変化するニーズに対して現状に沿ったサービスの提供を固定観念にとらわれず、実施している。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	小学校の運動会への参加、公園を利用したのリハビリを実施している。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームでの往診医、個別のかかりつけ医への受診の支援。状態におうじての相談・指示を仰ぎサービス提供に実践。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の観察から早期発見に努め、訪問看護師に相談し助言を頂き、適切な医療が受けられる様支援している。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の見回りなど病院側との信頼関係に努め、状態の確認や治療方法、その後の経過など伺い、情報交換に努めていく。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期ケアについては、管理者・ケアマネが家族と話し合い、同意を得、ホームとしてできる限り希望に沿って支援している。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の協力にて避難訓練・緊急時の手当て等定期的な訓練を受け、実践力を身に付けている。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力にて年1回の定期的訓練を行っている。避難方法・避難の手順を心得（マニュアルを全職員へ配布）している。近隣住民の協力体制がある。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価	
			実 施 状 況	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者の生活スタイルに応じた対応で人格を尊重し、プライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常にコミュニケーションを図り、話し合いながら、出来る限り自己決定を支援している。	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望に沿い、サービスの提供を行っている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出張床屋を利用して季節に合わせた身だしなみ、おしゃれを支援している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1人ひとりの好みを把握したり、入居者を中心として、食事作りの調理補助、準備後片付け等一緒に行っている。食材購入等も同行して頂くことで、楽しみも作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人1人の体調に合わせた量・味付け・栄養バランスに配慮し、食事の支援をしている。食事量・水分量のチェックを毎回行っている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、一人ひとりに応じた声掛け・介助を行っている。入れ歯は夕食後洗浄剤に浸けて朝本人に手渡している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表の記入によりパターンを把握できるよう努めている。利用者の行動の異変を感じ取り声かけ・誘導できる様心がけている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事・運動・水分補給等に配慮しながら、コントロールしている。又、医療面でも調整している。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者が楽しめるような支援をしている。入浴回数の少ない利用者には声かけして入浴を促し、強制はしない。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者がゆったりとした空間で過ごせるような雰囲気作りをし、安心Sンひて気持ち良く眠れるよう支援している。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の目的・副作用・用法を理解し、服薬の支援をしている。常に薬と本人を間違いないよう確認する事も行っている。症状の変化にも気を配っている。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人のできる事は手伝って頂き、張りのある生活をして頂く。レクなどではお互いに入居者同士が楽しめるような支援をしている。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩・外出・外食等支援に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>日常的にお金を使うことはないが、外出などでは買い物を楽しめる。お金を所持することではなく、ホームで管理している。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>経営方針でホームの電話の利用はない。かかってきた電話は本人へ取り次いでいる。手紙を利用者は少ない。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ゆったりとした空間で所々の花や植物を置き、壁には入居者と一緒に作った作品が飾られ、音頭調整もこまめに行い、過ごしやすい調整をしている。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングに2か所にソファがあり、本人が自由に過ごすことができる。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの家具を持ち込み家族の写真や手紙を飾り、利用者の住みやすい居室作りを行っている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の機能レベルに応じた生活をして頂き、自立への支援を目指している。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が ○ 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない